

こども家庭庁における科学研究について

令和4年度

令和5年度

厚生労働科学研究費補助金等
91億円

こども家庭科学研究費補助金等 3.7億円
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業)

科学研究費補助金等

成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業 3.2億円
公募型 260,545千円 指定型 58,000千円

- こども家庭科学研究の振興を促し、もって、こども、こどものある家庭及び妊産婦その他母性に関する保健医療、福祉、生活衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図る
 - 乳幼児の疾患の克服及び障害の予防、母性及び乳幼児の健康の保持増進並びに児童家庭福祉の向上に資することを目的とする
- 予算（令和5年度）
公募型 302,000千円 指定型 69,000千円

厚生労働省が所管する
AMED研究 475億円

こども家庭庁が所管するAMED研究 5.8億円
(成育疾患克服等総合研究事業)

AMED研究

成育疾患克服等総合研究事業 4.8億円
医薬品プロジェクト：133,975千円
ゲノム・データ基盤プロジェクト：346,221千円

- 受精・妊娠から胎児期、新生児期、乳幼児期、学童期、思春期、性成熟期、生殖期それぞれのライフステージと、次の世代を創出し育成する一連のサイクルである「成育サイクル」の観点から健康課題克服に向け、病態の解明と予防および治療のための研究開発とその実用化を推進
- 予算（令和5年度）
医薬品プロジェクト：169,250千円
ゲノム・データ基盤プロジェクト：406,985千円